

日本有数の温泉・観光地で忘年会  
忘年山行(箱根堂ヶ島溪谷・明星ヶ岳)

実施日 2014年12月13日(土)～14日(日)  
天候 晴れ  
リーダー 一柳 昭  
参加者 齋恵美子、一柳昭、涌井良明、鈴木政三、山崎富美恵、小松勲、安田三恵子、荻野智恵子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、関塚七海、徳山敬子、矢作多恵子、瀧澤きよの、石附恵理子、里見豊 計22名  
費用 新宿駅⇄宮ノ下駅 2,908円  
宿泊費 12,500円 計15,408円  
タイム 13日 宮ノ下駅(13:57)国道1号線(14:00)堂ヶ島温泉(14:15)堂ヶ島溪谷遊歩道(14:20)川久保発電所(14:35)吊り橋(14:47)R138(14:53)KKR宮の下(15:04)

13日 宮ノ下駅で集合の後、国道1号線から堂ヶ島温泉に下る。堂ヶ島温泉に数軒あったホテル・旅館は殆どが解体されており再開されるようだ。源流の芦ノ湖から箱根七湯を縫うように流れている早川に掛かっているトラス式の夢想橋を渡る



と東京電力の水力発電所の巡回路が堂ヶ島溪谷遊歩道となっており左に折れると溪谷沿いの登る道になり、ここからアップ

ダウンのきつい道が続き、とても遊歩道なんて甘くなく山道と変わらない。アップ

ダウンが少なくなると川久保発電所があり柵に囲まれた水路施設沿いを進むと桜橋という吊り橋に着く。重量制限があるので3人ずつ渡り対岸のきつい登りの坂道を登りきり国道138号線に出てKKR宮の下への登り坂を歩いてKKR宮の下に入った。



忘年会の部(18:00～20:00)  
忘年会までの時間は風呂に入ったり、

軽く一杯やっていたが役員は準備で大忙し。忘年会は涌井会長の挨拶・乾杯の音頭で始まった。美味しい料理をいただきお腹一杯になったところで恒例のビンゴゲームが始まった。今年は涌井さん特製のカードを参加者に一枚ずつ引いてもらい、ビンゴができる方法で大変盛り上がりました。全員にビンゴが出た後1番の人か品を御披露してヤンヤでした。二次会は男性の部屋で始まり、これをまた盛り上がりましたが翌日の山行を考慮して早めにお開きとなりました。14日 山行組14名を見送った後、散策組と所用で直帰する組はKKR宮の下の送迎車で宮ノ下駅に送ってもらいここで解散した。



(記・一柳 昭)

14日 歩き班  
明星ヶ岳～塔ノ峰～箱根湯本

リーダー 涌井 良明  
参加者 齋恵美子、涌井良明、山崎富美恵、石附智江、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、徳山敬子、瀧澤きよの、石附恵理子、里見豊 計14名  
タイム KKR宮ノ下(9:00)明星ヶ岳登山口(9:40～45)大文字焼跡(10:35～40)稜線縦走路(10:55)明星ヶ岳(11:00～10)P708(11:50～12:20)昼食)林道(12:38)塔ノ峰登山口(12:50)塔ノ峰(12:10～15)阿弥陀寺(13:45～55)箱根湯本(14:20)

さて、前日の宴会でのカロリーを消費すべく？歩き好きのメンバーはホテルから帰路の基点、箱根湯本駅まで、何と自力の徒歩のみで、しかも平地ではなく登り下りのある山中をひと筆書きで辿るグレートならぬミニトラバースである。

なんたって歩くのが好きだねえ～  
R138を乙女峠方面へ向かう、木賀を過ぎるとやがて宮城野橋に出る。国道と別れ某TV局の立派過ぎる保養所？や、近い将来世話になるかも知れない？県立老人ホームを過ぎて左に坂道を



登り、観光地は遠ざかり山が近くなる。右側に山を展望できるようになった。道端に明星ヶ岳の登山口があった。気温は低いですが風はなく、此処まで登りのため、既に汗をかいてしまった。



が、ほんとに汗をかかされるのはこれからだ、と思う間もなく急登だった。

樹林帯・密生した篠竹の道、段差のデッサン短足泣かせの箇所など、急登でも我々を飽きさせないように様々なバリエーション豊富でサービス満点のハイキング？コースを登らされる。



この時期はさすがに慰めになる花の姿は見られないが、代わりに足元を飾ってくれるクリスタルの様な飾りは、陽に輝やく霜の花である。

稜線直下の毎年大文字焼が行われる場所＝展望所では、正面に早雲山へケーブルカーが伸び、早雲地獄噴煙から冠ヶ岳・神山・駒ヶ岳と箱根の中央火口丘の峰々が手に取るようである。右にはでっかい



富士山が見えるのだが北西の寒気の風が強すぎるのか？山腹から山頂にかけてモックモクの雲に覆われている。中は吹雪

いているのか？明神ヶ岳からの縦走路から右に200mで明星ヶ岳だ。山頂らしくない所で、山頂標識と、御嶽大神が祀られている。賽銭を置くのは忘れたが、今後もうこれ以上は日本の山の噴火は勘弁してください、と心の中でお願いした。

ゴージャスな朝食でハラ一杯なのと、昼にはまだ早いので、もうしばらく空腹になるのを待つことにして外輪山の稜線を歩くことにする。

気温も少し上がって落葉の下は少し

滑り易くなったが、春先の名物の様になっているぬかるみ道ほどではないのでラクと言えはラクだが、ラクッ！には気を付けましょう。



開かれた防火帯？篠竹のトンネルなどの緩めの登降を繰り返すが、このところみっちり歩きを重ねているアルキニストたちには物足りないか？と思われる稜線歩きである。

寒さをしのげる日当りを探しながらしばらく歩いて地図上の708mピークで木漏れ日があったのでランチになる。

今日も分けていただく漬物が旨い！

あまり長居しても寒くなるので、いつもと同じ時間で切り上げて出発。

僅かに進んで右折、トント豚と下って車道に、そのまま左へ歩くが車道では下山モードになりそうだ。



900mで塔ノ峰入口になる。真っ直ぐに登って左に大山から小田原～相模湾のパノラマビューを見ると、塔ノ峰はすぐだった。三角点アリ、

展望なし、地味な山頂ですね。

後は下り30分とあるけど、一旦尾根を下ってから、えっ戻るの？と思わせる山腹の巻道をしばらく進んでから、また下りになって荒れた竹林を下って阿弥陀寺裏へ。



皇女和宮所縁にあやかっ、美人になれる？？美味しい水を汲んでから、湯本へ下る。駅裏の白(かった)い岩に刻まれた磨崖仏の白石地蔵に寄り道して、本日のミニトラバースは完結です。

帰りたい組、帰りたくない組、と三々五々、人混みに流れカイサン～オ・シ・マ・イ。さて来年の忘年山行はどうなるでしょうか？ ちょっと心配です。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・石原勝正/伊藤久雄)